

令和3年度事業報告について

1 正会員数

期首	55
入会	1
退会	1
期末	55

2 京都産業会館ホール使用状況

(1) 使用件数

(単位: 件)

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019	7	9	16	11	9	16	17	21	14	7	16	4	147
2020	2	0	5	2	5	6	13	12	9	8	13	17	92
2021	10	3	11	10	5	8	13	11	11	10	5	11	107
2020との比較(%)	500.0	-	220.0	500.0	100.0	133.3	100.0	91.7	122.2	125.0	38.5	64.7	116.3
2019との比較(%)	142.9	33.3	68.8	90.9	55.6	50.0	76.5	52.4	78.6	142.9	31.3	275.0	72.8

(2) 使用日数

(単位: 日)

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019	53	29	70	65	23	61	69	65	44	15	57	26	577
2020	22	0	22	14	19	21	62	42	32	9	38	67	349
2021	39	5	34	50	22	43	52	50	34	30	16	47	422
2020との比較(%)	177.3	-	154.5	357.1	115.8	204.8	83.9	119.0	106.3	333.3	42.1	70.1	120.9
2019との比較(%)	73.6	17.2	48.6	76.9	95.7	70.5	75.4	76.9	77.3	200.0	28.1	180.8	73.1

注 使用件数とは、ホールを使用した催事の件数で、使用日数はホールを使用した延べ室数のことである。たとえば、1件の催事で、北室・中室・南室を5日間使用された場合、使用件数は1件、使用日数は15日となる。

(3) 収入額 [税込み]

年 度	収 入 額
2019 年度	1 億 2,101 万円
2020 年度	7,034 万円
2021 年度	8,974 万円
2020 年度との比較	+ 1,940 万円
2019 年度との比較	△ 3,127 万円

※京都府における緊急事態措置（催物の開催自粛、無観客開催等）を踏まえ、2021年4月25日から5月11日までホールを臨時休館とした。

※既納のホール使用料は、災害等の不可抗力を除き返還しないこととしているが、京都府における緊急事態措置の期間に該当する場合等のキャンセルについては、特例措置として延期振替により対応した。

(参考) 2021年4月～2022年3月の緊急事態措置等（京都府）の発出状況

緊急事態措置		まん延防止等重点措置		要請（催物の開催制限）								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4/12～	4/25～	6/21～	7/12～	8/2～	8/20～	10/1～				1/27～	3/22～	

3 「令和3年度事業計画」の進捗状況

(1) 公益法人としての取組み

①京都市との連携事業

- ・中高生のきもの着付け体験の実施

京都市内に在住又は通学する中学生・高校生等を対象とした、伝統産業の日 2022 関連事業「きもの着付け&トークイベント」（参加費無料）について、感染症対策を徹底したうえで令和4年3月20日(日)に開催した。

本年度は会場として京都産業会館ホールを無償提供することや企画運営等で支援を行った。

- ・申込者数 173名（定員150名）
- ・参加者数 160名（男性11名、女性149名）



②地場産業振興事業

- ・京都織物卸商業組合との連携事業

「令和3年度京都きものオーディション事業」、「令和3年度和装通過儀礼事業」並びに「令和3年度きもの文化検定」に対して、資金助成等を行った。

- ・「ITで商売繁盛フェア」の実施
別紙、事業報告書のとおり

(2) 法人運営の安定を図るための取組み

安全で、安心してホールをご利用頂けるよう、催事の主催者や関連事業者等と連携し、来場者のご理解もいただきながら、会場内でのソーシャルディスタンスの確保やマスク着用の遵守、検温、来場者名簿の整備等の新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。

また、営業活動としては、ホールを継続的にご利用いただいている企業をはじめ、行政機関や各種団体への働きかけのほか、企画会社等との情報交換を通じて新規ご利用の開拓にも取り組んでいる。

(3) 「京都経済センタービル管理組合」管理者としての取組み

京都経済センターの入居者及び来館者が安全・安心・快適に過ごせるよう、京都経済センタービル管理組合の管理者として、建物・設備の維持管理、防火・防災・防犯対策等に取り組んだ。

駐車場・駐輪場の運営については、新たな運営委託事業者を公募により選定し、円滑な運営と安定した収益の確保に努めた。

また、竣工から3年が経過するのを機に、電気・ガスやビル管理業務等の契約を見直し、経費節減を図るとともに、中長期的に安定した組合運営ができるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症対策としては、前年度に引き続き、建物の共用部分の消毒の強化や館内の換気能力の向上、来館者へのマスク着用や手指消毒、検温の実施の呼びかけなどに努めた。

4 庶務事項

(1) 事務局職員

事務局長以下6名

(2) 役員会

- 6月 3日 監事会（令和2年度決算の監査）
- 6月 8日 第1回理事会（第57期通常総会に付議すべき事項について等）
- 6月 24日 臨時理事会（会員の加入について）
- 6月 24日 第57期通常総会（令和2年度事業報告書、決算書。理事・監事の一部改選(案)。令和3年度事業計画、予算書の報告等）
- 10月 28日 第2回理事会（令和3年度事業報告4～8月）
- 3月 31日 第3回理事会（令和4年度事業計画、予算書。令和3年度事業の進捗等）

ITで商売繁盛フェア 事業報告書

1 目的

(一社)京都産業会館の設立目的である地場産業振興のため、市内中小企業の中で、事業のIT化に関心はあるものの、導入や活用の方法が分からない等の課題をもつ企業と、地元IT事業者のビジネスマッチングの場を提供することにより、中小企業のIT化を推進し、売上向上や内部管理の効率化に資することを旨とする。

2 実施日時

令和3年7月30日(金) 11:00～16:30

3 会場

京都産業会館ホール(中・南室)

4 主催

(一社)京都産業会館

5 特別協力

京都コンピューターシステム事業協同組合、(一社)京都府情報産業協会

6 後援

近畿経済産業局、京都市、(独法)中小企業基盤整備機構近畿本部、
京都商工会議所、京都府中小企業団体中央会、(公財)京都高度技術研究所

7 出展企業・団体数

32社・団体

8 参加者数

京都の中小企業の関係者等約200名

9 成果等

当日は、京都の中小企業の経営者や担当者と、出展企業との商談が活発に行われ、中小企業のIT化の推進に寄与する、という所期の目的は達成できたものと考えている。

また、コロナ渦での開催となったが、行政等から示されている感染防止対策に万全を期して実施した。

10 アンケート結果

(1) 来場者

- ・来場目的(広く IT の動向の情報収集、自社の課題解決につながる IT ソリューション等)については、95%の人が達成できたと回答
- ・次回開催されれば、91%の人が、また来場したいと回答

(2) 出展者

- ・本展示会について、満足していると回答した企業・団体が96%
- ・商談につながる可能性がある引き合いがあったと回答した企業が77%
- ・次回開催されれば、81%の企業・団体が出展したいと回答

11 収支決算

	項 目	金 額
収入の部 a	京都市補助金	5,000,000 円
	出展料・協賛金	3,464,000 円
	計	8,464,000 円
支出の部 b	展示会運営委託費	3,830,400 円
	専用サイト制作費	4,000,000 円
	会場使用料	633,600 円
	計	8,464,000 円
差引(a - b)		0 円



展示ブース



商談ブース



ミニセミナー



ミニセミナー